



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〔第三三七号〕

冬至 とうじ 十二月二十一日

もう一つのお伊勢参り

近頃、取り組んでいるテーマがあります。伊勢西国三十三所観音巡礼です。西国三十三所(本西国)は、平安時代に始まったとされる日本最古の巡礼路で、和歌山県の那智なちから岐阜県の谷汲たぐみまでのおもに近畿地方の観音の寺をぐるりと巡ります。令和元年に「1300年続く日本の終活の旅」として日本遺産に認定されています。

その地方版として、三重県にも伊勢三十三所観音巡礼が伝わり、それが平成18年に再編成され、今ふたたび注目されているのです。そのルートは、伊勢神宮周辺から桑名の多度大社周辺までの、街道沿いに点在する寺々をたどります。私は、「もう一つのお伊勢参り」という古くからのキャッチフレーズに惹かれ、番外の鳥羽の青峯山正福寺あおみねさんしょうふくじから始め、津市久居にある第十三番の千手院まで来ました。お寺をひとつずつ巡っていくと、これまで知らなかった土地の歴史を垣間見るようです。

伊勢神宮の祭主・大中臣氏おおなかとみが建てた蓮台寺れんたいじ(廃寺)のご本尊の観音像が伊勢市勢田町の中山寺ちゅうざんじに移され、今も地元住民が年に一度法要を行っていたり、外宮別宮の月夜見宮に隣接した実性寺(廃寺)の観音像が、伊勢市御園町の宝林寺ほうりんじで守られていたり、廃寺になった観音像も今に伝わっていました。明治の神仏分離令で壊された仏像は数知れず、しかし残った仏像もあるのです。

そして、もう一つ興味深いのが、神宮ゆかりの寺に観音像がまつられていること。これは神仏習合の時代、内宮の祭神、天照大神の本地仏ほんじぶつが、観音と考えられていたことが伺えるのです。本地というのは、神の本来の姿が仏であるという仏教の考え方。それを目の当たりにするのです。本西国が「終活の旅」なら、伊勢観音巡礼は「神仏習合しんぶつじゅうごうの祈りをひもとく旅」。御朱印帳を持参し、これからも巡ります。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ 歳の市

新年の「明けましておめでとございます」という言葉は、年が明け、歳神（としがみ）様を迎える際の祝福の言葉でした。つまり、お正月は家に歳神様を迎えお祝いする行事です。

歳神とは1年の始まりにやってきて、その年の作物が豊かに実るように、また、家族みんなが元気で暮らせる約束をしてくれる神様です。正月に門松やしめ飾り、鏡餅を飾ったりするのは、すべて歳神様を心から喜んで迎えるための準備です。

おかげ横丁では、昔ながらの風習に触れる、お正月の支度「歳の市」を開催いたします。家族揃って、お正月の準備をしてみませんか。

日時／令和2年12月12日(土)～12月28日(月) 10:00～17:00

場所／おかげ横丁一帯

※雨天および諸事情にて、中止または内容が一部変更になる場合がございます。
※例年開催しております「しめ縄作り体験」「しめ縄リース作り体験」「家族餅つき体験」は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、今回は中止とさせていただきます。何卒ご理解のほどお願い申し上げます。

● もち花作り体験

お正月飾りには欠かすことができないもち花。今年も豊作であるようにという願いが込められています。かつては、花の咲かない真冬に彩り添えるささやかなアイテムでした。白餅と黄色味を帯びた栗餅を使い、金銀に見立てた伊勢地方独特のもち花を作ってみましょう。

日時／12月23日(水)～25日(金) 11:00～16:00

場所／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

● ミニ門松づくり体験

門松は、今では正月の飾りもののように思われていますが、もとはといえば歳神の依代(よりしろ)といわれ、神霊が下界に降りてくる時の目標物と考えられていました。現在では住宅事情などで、家々の門前に立てるのは難しくなっていますが、机の上や玄関口に置ける小さな門松を飾ってお正月を迎えましょう。

日時／12月19日(土)～25日(金) 10:00～16:00

場所／おかげ横丁特設屋台

● お正月のお飾り市

縁起よく新年を迎えていただくための、しめ縄や松竹梅の鉢植え、ミニ門松などのお飾りが並びます。

日時／12月12日(土)～28日(月) 10:00～17:00

場所／おかげ横丁「特設屋台」

五十鈴塾

○ 「お正月の花を生けましょう」

最近はお正月といっても、そう特別なこととは考えられていないらしくお正月料理のほかに改まってなにか用意するという風習はなくなりました。

しかしながら、せめてお花でも飾ってお家にも新玉の喜びを味わせてあげましょう。今回は洋風なお宅にも似合う少しくだけたお花を用意いたします。

(花包み・花切り狭・タオルなどをお持ちください)

と き／12月22日(火) 13:30～15:00

講師／竹澤 幸甫(嵯峨御流正教授)

参加費／一般3,500円 会員3,000円(材料費含む)

集合場所／五十鈴塾右王舎

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

わびすけ
侘助

冬の庭にひときわ静かに咲く侘助の花を見るとほっと心が温かくなります。古くから茶花としても広く用いられています。求肥に白餡とメレンゲを加えた生地で粒餡を包みました。炉の季節の風情を感じさせるひと品です。

しんえん まつ
神苑の松

五十鈴川添いの木々もすっかり葉を落とし、神宮の柱に目を移せば、松の緑が新鮮です。粒餡を緑の山いもきんとんで包み小豆の松ぼっくりと白い氷餅で雪化粧した神苑の松を表現しました。

としこしまんじゅう
年越饅頭

今年も無事に年が越せ新年を迎えられます様、感謝と願いを込めていただく年越し蕎麦。私共では山芋に蕎麦粉をませた生地で漉し餡を包んだ薯蕷饅頭を作ります。少し温めて蕎麦の香りをお楽しみください。